

しまの情報紙

2006秋・冬号

愛ランドまつやま

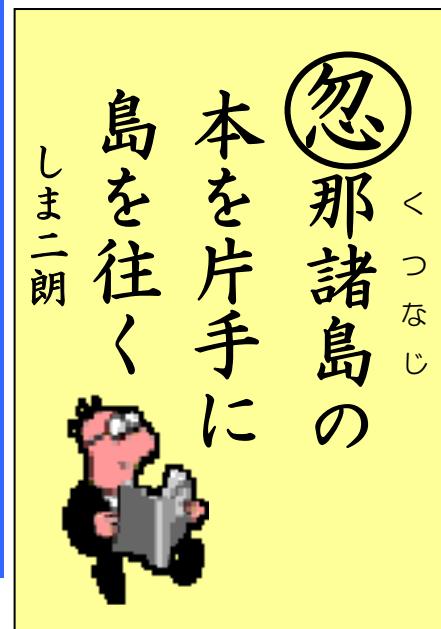
発行：松山離島振興協会／文責：会長 田中政利

【お問い合わせ先】

事務局長 俊成雅直 TEL：997-2189 メール：airando-matsuyama@rhythm.ocn.ne.jp



祝賀会では、知事に続き、市長がお祝いのことばを述べられました



松山離島振興協会の顧問であり、協会の前進である「みんなのまつやま夢工房」の会長であった山野芳幸先生が、自らの取材と写真で松山の名所旧跡を紹介する「○○界隈はええとこぞなもし」のご本。今回、「伊予北条界隈」に続くシリーズ5作目となる最新刊では、松山市の島嶼部を取り上げられ、先頃、株式会社エーザーから「忽那諸島界隈はええとこぞなもし」として出版されました。

島嶼部を紹介する本書の出版を記念し、松山離島振興協会が主催となり、十月二十一日、市内のホテルで出版記念祝賀会を開催いたしました。祝賀会には、加戸愛媛県知事夫妻、中村松山市長のほか、人権・同和教育関係者や学校教育関係者など、百余名の参加者が集い、山野先生のこれまでの労苦をねぎらうとともに、今後益々の活躍を希望する会となりました。特に加戸知事からは、実際にご夫妻で先生のご本を片手に島を訪れたエピソードなどが紹介され、観光面での本書の活用に関するひとつの方針性を示唆されていました。また、中村市長からは、来春に中島本島で開催の、島の会議「島サミット」の話が紹介され、協会が夢工房当時に提案しました島の博覧会「しまはく」の開催についても、行政としてのバックアップに意欲を示されていました。また、参加者の中には、先生の勝山中学校長時代の卒業生で、現在、愛媛FCで活躍の友近聰朗選手の顔もあり、花束贈呈を行い、先生との旧交を深めていました。

【山野先生のご本、「忽那諸島界隈はええとこぞなもし」ほか「ええとこぞなもし」シリーズに関するお問い合わせは、株式会社エーザーまで。電話958-8858】

坂の上の雲フィールドミュージアム活動支援事業

島めぐりクルージング



合言葉は「島へ行こう！」

松山離島振興協会では、松山市の「坂の上の雲フィールドミュージアム活動支援事業」の採択を受けて、各島の地域資源調査を行っているところですが、その調査の成果を量り、今後の島の活性化の目標値などを設定するための実証実験として、今回、3つの島をめぐる『島めぐりクルージング』を開催しました。



宇佐八幡神社の絵馬堂に
鎮座する大小2体の神輿

安居島では、島の開祖の碑、遊女みどりの墓、氏神の天神社、姫坂神社などを訪ねた後、集会所で地元で栽培したお茶の接待などを受けました。つぎの睦月島では、地元女性グループの熱烈な出迎えを受け上陸。米山書の注連石、當田八幡神社境内、玉善寺の夫婦楠などを見学し、あらかじめ注文の鯛めしご膳、たこ飯ご膳、あるいは両方が味わえた仲睦ご膳を堪能。腹がなしの散策では、長屋門や岩風呂跡を見学しました。おみやげ物は、野菜やパンなどもあり、みなさん、両手いっぱいに抱えての出港となりました。

平成十八年十月十五日、日曜日。浜観光港に集合した参加者は九十余人余り。協会のスタッフを含めた百余人のメンバーが、北条地区の安居島、中島地区の睦月島・野忽那島を船で訪ねました。



昼食の献立説明。やさしい文字からも歓迎の意が伝わります

最後に訪れた野忽那島は、ちょうどこの日が秋祭り。まずは、忽那諸島でも一、二という皿山からの眺望を眺めるため、多くの参加者が一番急な階段を元気よく登ります。ずいぶんたくさん歩いた後なのに、それでも絶景を見るとなぜか疲れも吹き飛ぶようです。下山後は宇佐八幡神社で貴重な遍路絵馬を見学しました。さあ、とつておきは神輿体験です。大人神輿、子ども神輿それぞれに参加者が加わり、味のある節回しの唄に合わせ、町内を練り歩きます。そして、宮入。古い大きな神輿を絵馬のあるお堂の中で何遍もぐるぐると駆け出し、最後は総代の合団で納めます。野忽那独特の宮入の風習に一同感嘆でした。野忽那島でのおみやげは、海の幸が並びます。モイカの一夜干し、海藻類に活きザザエ。特にザザエはその場でつぼ焼きが味わえ、みなさん大満足でした。



島の路地を探索。路地裏には野良猫の姿も

【島めぐりクルージングを終えて】

★★★私たちの開催する『島めぐりクルージング』で「見て」「触って」「感じて」ほしいことは、まさに島の暮らしであり、島の生活文化や風習そのものです。ご参加いただける人数は限られていますが、近い将来に開催をめざす島の博覧会『しまはく』の時には、多くの市民のみなさんや、大勢の観光客のみなさんにもお越しいただけるよう今から準備をしていかなければと思っています★★★

桜の島をめざして植樹祭を開催

十一月二十三日（祝）に開催された桜の植樹祭の様子です。当日は実際に三百人を超える島内外の参加者が集まり、小浜・長師地区などを中心とした十八箇所の植樹を実施。染井吉野や冬桜など十五種類の桜の苗木四百三十本余りをいねいに植えつけました。

作業を終えたみなさんへは、地元女性部のうどんのおもてなし。凍えた体に熱い一杯がします。二杯目をいただく方もいるくらい、お味もグッド。おみやげにおみかんもいただき、話は延々花見談義です。本当に楽しみですね。

和・釣島・泊地区にも植樹しました。みなさん、お疲れさまでした。



もてなされた「手作りのうどん」は、お味も最高！ 中島女性の真心が、たっぷりと込められていました



松山地区から参加いただいたボランティアメンバー

『新聞紙上で市長と対談』 平成18年11月22日／市長応接室

愛媛新聞の新春紙上対談で、田中政利会長が中村松山市長との対談を行いました。これは、毎年、市が正月元旦号の新聞紙面に広告として掲載している対談ですが、今回の対談のテーマは『坂の上の雲のまちづくり』。市内でまちづくり活動を行う団体ということで、松山離島振興協会が、久谷地区のまちづくり団体『久谷夢工房』とともに選ばれ、市長との対談となりました。「当日を迎えるまでは、やや緊張した」という田中会長も、実際の談義の中ではリラックスムード。初めて聴く久谷地区のまちづくりにも大いに関心を抱き、対談後には「いつか一緒に何かやりたいですね」と、『久谷夢工房』の光田会長と約束しました。もちろん、市長からは、それぞれの地域のコミュニティづくりをしっかりと頼まれました。

この対談記事は、平成19年1月1日の愛媛新聞の中で、一面掲載されます。



『島の写真を大募集！』「しまの写真コンテスト」開催／島サミット

美しい景観を誇る忽那諸島の写真を大々的に募集します。海やみかん山、水平線に浮かぶ島影や行き交う船など、島ならではの風景を撮影しご応募ください。平成19年3月に開催を予定している島の会議「島サミット」において、参加者等の投票により入賞を決定します。傑作・力作のご応募をお待ちしています。



【応募要領】募集テーマ／松山市の島嶼部の風景を撮影した作品 応募作品／四つ切またはワイド四つ切のプリント、A4も可 賞／大賞1点・入選9点(各島1点)・特別賞数点(各賞、賞状と記念品) 応募方法／平成19年2月28日(必着)までに、住所・氏名・年齢・職業・作品の説明コメント(100字以内)を添えて、790-8571 企画政策課へ郵送か持ち込みで 利活用手段／入賞作品および応募作品の一部は、「しまのパンフレット」や協会のホームページへの掲載など、島の広報活動等で活用します
【応募上の注意】・未発表作品に限る・複数作品応募可(1人3点まで)・表面加工不可・要被写体承諾・応募作品返却不可・応募作品の版権および使用権は主催者側に帰属

【地域産業部】

10月21・22日、大街道商店街で開催の「みんなの生活展」に出展し、島の特産品販売や島のPR活動を行いました。

2月24・25日には、大可賀2丁目、アイテムえひめで開催の「第1回 農林水産まつり」に出展します。

あなたも手作りのもの展出し、一緒に販売してみませんか。

《お問い合わせ・お申し込み》

事務局長 俊成雅直

TEL997-2189



【生活環境部】

生活環境部では、定住促進に取り組んでおり、全国規模の島嶼部の集まりの場で情報発信していたところ、現在、2件の問い合わせがあり、鋭意対応中です。

お手持ちの空き家・空き地を活用したいという方は、ぜひ、ご相談ください。

《お問い合わせ・お申し込み》

部長 田中 治 TEL998-0243



【観光振興部】

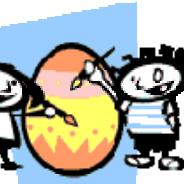
11月23日（祝）の植樹祭にご参加いただきましたみなさん、本当にありがとうございました。まずは中島本島、怒和島、釣島、興居島から植樹を始めましたが、ゆくゆくは全9島が満開の桜でにぎわうことを願っています。

日本一の桜の島をめざして、活動していますので、「瀬戸内の再会桜」事業にご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

《お問い合わせ・お申し込み》

副部長 中矢章敬

TEL951-0128



【教育振興部】

教育振興部では、中島中学校の生徒たちと松山離島振興協会のメンバーによる意見交換会を開催します。来る3月の「島サミット」を含め、今後の島の活性化について、島の将来を背負う子どもたちとともに話し合う機会の第一歩にしたいと考えています。

《お問い合わせ・お申し込み》

部長 河野健二 TEL997-0204

ホームページも続々更新中。ぜひ、ご覧ください。

<http://iland-matsuyama.infoseek.ne.jp>

☆ 松山離島振興協会は、会員のみなさんの会費によって運営されています☆

☆ あなたも会員になって、いっしょに活動してみませんか☆